中学生のカバンが重すぎる！

6月議会

ある日の様子。測ると総重量14kg！

■中学生のカバンの重さに驚いた！

今春、長女が中学生になりました。保護者としても新鮮な日々の中、驚いたことが1つ。それはカバンの重さ！ まずメインバッグ（指定のナイロン製リュックタイプ）が教科書などを入れて約10kg。さらに体操服などを入れるサブバッグ、部活動をしている生徒はシューズやラケットやグローブ…。尋常ではない重さに驚愕しました。

重い理由の1つは、教科書の分厚さのようです。ゆとり教育の見直しでページ数が約3割増加。全教科とも厚さ約1cm以上で、サイズも大判化しています。図や写真が多くて分かりやすいのですが、ともかく分厚くて重いのです。

■体に悪いのでは？ 社会問題にまで！

重すぎるカバンは、体への影響が心配です。まだ体が小さい生徒もいる中、毎日10kg以上の荷物を背負っての登下校は体に大きな負担がかかります。肩や腰の損傷、ひいては成長の妨げに繋がるのではないでしょうか。実際に市内の女子生徒が肩のヘルニアになったと聞きました。

カバンの重さに課題を感じたのは私だけではありません。保護者仲間から次々に「何とかして！」との声を承りました。社会問題にもなっており、昨年、広島市立中学校でパソコン放送部がカバンの重さを訴える動画を作成配信したところ大きな反響をよび、全国放送でテレビが次々にニュースや情報番組で取り上げました。多くの新聞でも扱われています。

■“置き勉”を広げよう！

ではどうすればよいか？ 対策の1つは“置き勉（置き勉強道具の略語）”です。現在多くの中学校では、家庭学習を進めるために原則教材は持ち帰りだそう。しかし「何を持って帰り、家で何を勉強するか」は、生徒に主体的に決めさせたいものです。軽量カバンが開発されていることから、指定カバンを見直すのも1つです。

■“校長会等で話をする”by教育委員会

そこで6月議会にて、上記について現状認識と対策を質問しました。教育委員会いわく「課題認識はしている。置き勉を継続的に検討する。荷物を置ける環境整備も必要。今後、校長会等で検討を促す」とのことでした。これからに期待。

中学生のカバンが重い。些細な事柄かもしれませんが、私自身や当事者の体験からくるナマの課題です。大きな政策の議論は当然必要ですが、一方で私たちの実際の生活からの課題を丁寧に拾い上げて改善をすることも、大事にしたいし議員の役割だと思っています。小さな改善をコツコツと重ねることが、大きな改善につながります。その積み重ねが“住み続けたい街”を創ることにつながると思っています。これからもぜひお声を！

ブロック塀の点検を ～大阪北部地震～

6月18日（月）大阪北部を中心とした地震が発生しました。亡くなられた4名のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた皆様にお見舞いを申し上げます。

地震翌日、会派「フォーラム伊丹」で市長と教育長に緊急要望書を提出しました。ブロック塀事故を受け、以下の4点を緊急要望したものです。①学校園のブロック塀の点検、②通学路などのブロック塀の点検、③点検結果の保護者等への公表・国県への支援要請、④防災教育の再度徹底

伊丹市は、学校園をはじめとする公共施設のブロック塀を調査。結果、取り急ぎ市立伊丹高校と女性児童センターのプールを囲うブロック塀を撤去しました。市民の皆様におかれては、ご自宅などのブロック塀を点検して、必要に応じて専門業者などにご相談いただければ幸いです。

～外観からわかる点検ポイント～

□塀が傾いていないか □塀にひび割れが生じていないか □高さが高すぎないか（建築基準法の規制は2.2m以下）□控壁があるか（高さ1.2m以上に限る） □塀の厚さは十分か（10cm以上）（高さが2m以上2.2m以下は15cm以上） □コンクリートの基礎があるか □塀に鉄筋は入っているか

相談先：公益財団法人 兵庫県建築士会 阪神支部事務局 TEL 06-6421-2448 FAX 06-6421-2448